

6 市場事業

(1) 事業数

平成26年度における市場事業の事業数は、下記の7事業9施設で、いずれも法非適用事業である。

市場種別	団体名	市場名
中央卸売市場 (1事業2施設)	仙台市	仙台市中央卸売市場本場(青果・水産物・花き) 仙台市中央卸売市場食肉市場
地方卸売市場 (6事業7施設)	石巻市	石巻市水産物地方卸売市場石巻売場 石巻市水産物地方卸売市場牡鹿売場
	塩竈市	地方卸売市場塩竈市魚市場
	気仙沼市	地方卸売市場気仙沼市魚市場
	大河原町	大河原町地方卸売市場(青果)
	女川町	女川町地方卸売市場(水産物)
	南三陸町	南三陸町地方卸売市場(水産物)

(2) 施設の利用状況

年間取扱高は57万4,581tで、前年度に比べ10万4,038t(22.1%)増加している。その内訳は、青果物が20万7,998t、水産物が34万4,731t、食肉・鶏卵・その他が2万1,852tとなっている。前年度に比べ水産物が11万1,082t(47.5%)増加し、青果物が6,394t(3.0%)、食肉・鶏卵・その他が650t(2.9%)それぞれ減少している。

年間売上高は2,109億78百万円で、前年度に比べ226億62百万円(12.0%)増加している。その内訳は、青果物が490億38百万円、水産物が1,318億61百万円、食肉・鶏卵・その他が300億79百万円で、前年度に比べ水産物が202億44百万円(18.1%)、食肉・鶏卵・その他が29億1百万円(10.7%)それぞれ増加し、青果物が4億83百万円(1.0%)減少している。

また、市場関係業者数は卸売業者15社、仲卸業者45社、売買参加人が1,623人、関連事業者が40人となっており、前年度に比べ売買参加人が22人減少している。

第1表 利用状況の推移

年 度		22		23		24		25		26		対前年度比較	
		22	構成比 (%)	23	構成比 (%)	24	構成比 (%)	25	構成比 (%)	26	構成比 (%)	b - a	(c/a)
項 目												c	×100(%)
取 扱 高 (t)	青 果 物	200,336	31.8	207,589	52.9	207,737	45.6	214,392	45.6	207,998	36.2	▲6,394	▲3.0
	水 産 物	402,436	63.9	168,588	42.9	223,957	49.2	233,649	49.7	344,731	60.0	111,082	47.5
	食肉・鶏卵・その他	27,287	4.3	16,426	4.2	23,416	5.1	22,502	4.8	21,852	3.8	▲650	▲2.9
	計	630,059	100.0	392,603	100.0	455,110	100.0	470,543	100.0	574,581	100.0	104,038	22.1
売 上 高 (百万円)	青 果 物	48,466	23.7	47,756	29.8	46,820	26.2	49,521	26.3	49,038	23.2	▲483	▲1.0
	水 産 物	128,811	62.9	93,054	58.1	107,202	59.9	111,617	59.3	131,861	62.5	20,244	18.1
	食肉・鶏卵・その他	27,475	13.4	19,407	12.1	24,875	13.9	27,178	14.4	30,079	14.3	2,901	10.7
	計	204,752	100.0	160,217	100.0	178,897	100.0	188,316	100.0	210,978	100.0	22,662	12.0
業 者 数	卸 売 業 者 (社)	17	—	16	—	15	—	15	—	15	—	0	0.0
	仲 卸 売 業 者 (社)	46	—	46	—	46	—	46	—	45	—	▲1	▲2.2
	売 買 参 加 人 (人)	2,056	—	1,810	—	1,685	—	1,645	—	1,623	—	▲22	▲1.3
	関 連 事 業 者 (人)	45	—	45	—	47	—	47	—	40	—	▲7	▲14.9

(注) 青果物は「野菜」+「果実」、水産物は「水産物」、食肉・鶏卵・その他は「肉類・鳥類・卵類」+「その他」をいう。

(3) 経営状況

市場事業の収益的収支における総収益は27億79百万円で、前年度に比べ2億56百万円(10.2%)増加しており、総費用は21億22百万円で、前年度に比べ2億27百万円(12.0%)増加している。この結果、収支差引では6億56百万円の黒字となり、前年度に比べ29百万円(4.7%)増加している。

また、資本的収支における収入は34億54百万円で、前年度に比べ74百万円(2.2%)増加しており、支出は22億68百万円で、前年度に比べ19億30百万円(46.0%)減少している。この結果、収支差引では11億86百万円の黒字となり、前年度に比べ20億4百万円増加している。

収益的収支と資本的収支を合わせた収支再差引は18億42百万円の黒字で、これに前年度からの繰越財源等を調整した実質収支は4百万円の黒字となり、前年度に比べ4百万円(46.9%)減少している。

なお、収益的収支比率は88.4%で、前年度に比べ0.6ポイント上昇している。

第2表 市場事業の収支状況の推移

(単位:百万円、%、人)

項 目		年 度	22	23	24	25	26	対前年度比較		
								a	b	b - a
収 益 的 収 支	収 入	総 収 益 A	2,647	2,331	2,586	2,523	2,779	256	10.2	
		営 業 収 益	1,807	919	1,574	1,686	1,713	27	1.6	
		う ち	料 金 収 入	1,791	904	1,560	1,672	1,700	27	1.6
			受 託 工 事 収 益	0	0	0	0	0	0	—
		ち	そ の 他	16	15	15	13	13	▲1	▲4.7
	入	営 業 外 収 益	840	1,411	1,012	837	1,066	229	27.4	
		う ち 他 会 計 繰 入 金	451	1,053	535	300	643	343	114.5	
	支 出	支 出	総 費 用 B	2,201	1,967	1,956	1,895	2,122	227	12.0
			営 業 費 用	1,859	1,634	1,657	1,639	1,763	124	7.6
			う ち 職 員 給 与 費	403	386	369	352	350	▲2	▲0.6
営 業 外 費 用			342	333	299	257	360	103	40.1	
う ち 支 払 利 息			320	296	271	241	227	▲13	▲5.4	
収 支 差 引 (A-B) C		446	363	630	627	656	29	4.7		
資 本 的 収 支	収 入	資 本 的 収 入 D	1,412	4,529	2,720	3,380	3,454	74	2.2	
		地 方 債	627	669	990	1,759	2,871	1,112	63.2	
		他 会 計 繰 入 金	669	2,318	561	471	455	▲16	▲3.4	
		工 事 負 担 金	0	1	0	0	0	0	—	
		国 ・ 県 補 助 金	76	1,405	1,167	1,151	128	▲1,023	▲88.9	
	そ の 他	40	136	2	0	0	0	—		
	支 出	支 出	資 本 的 支 出 E	1,857	4,247	3,795	4,198	2,268	▲1,930	▲46.0
			建 設 改 良 費	846	2,838	2,291	3,208	1,246	▲1,962	▲61.2
			地 方 債 償 還 金 e	990	1,187	1,471	979	1,020	41	4.1
			そ の 他	20	222	32	11	3	▲8	▲76.8
収 支 差 引 (D-E) F		▲444	282	▲1,074	▲818	1,186	2,004	—		
収 支 再 差 引 (C+F) G		2	645	▲445	▲191	1,842	2,033	—		
積 立 金 H		0	0	0	0	0	0	0.0		
前 年 度 か ら の 繰 越 金 I		13	14	659	215	24	▲191	▲89.0		
前 年 度 繰 上 充 用 金 J		0	0	0	0	0	0	—		
形 式 収 支 (G-H+I-J) K		14	659	235	24	1,866	1,842	7,815.9		
翌 年 度 に 繰 越 す べ き 財 源 L		13	657	209	15	1,861	1,846	12,161.5		
実 質 収 支 (K-L)		1	2	26	8	4	▲4	▲46.9		
う ち	黒 字	1	2	26	8	4	▲4	▲46.9		
	赤 字	0	0	0	0	0	0	—		
職 員 数		52	49	47	47	46	▲1	▲2.1		
収 益 的 収 支 比 率 A/(B+e)		82.9	73.9	75.5	87.8	88.4	0.6	—		